

博士論文審査結果の要旨

博士論文審査委員会

主 査 増成 和敏

審査委員 梁 元碩

審査委員 吉武 良治

審査委員 山崎 憲一

審査委員 土屋 雅人

*審査委員

氏 名	永野 克己
論文題目	NTT ドコモの携帯電話における UI デザイン変遷に関する研究
〔論文審査の要旨〕 論文最終審査会（公聴会）は、田町校舎 301 教室で、1 月 24 日（水）15 時から 17 時の間で行われた。参加者は外部審査委員 1 名を含む審査委員 5 名と一般参加者 3 名であった。はじめに発表者より研究論文内容の説明が 90 分間行われ、その後、審査員、参加者からの質疑に対する回答が 30 分間行われた。 発表内容は、NTT ドコモが発売した携帯電話初号機 TZ-802B から最新機種 P-01 までの 523 機種を対象とし、その間の UI デザイン変遷について、操作キーを中心に具体的で詳細な調査を基にした上で変容経緯を明らかにした。 具体的には、初号機と最新機種と比較して①共通するキー②削除された操作キー③追加された操作キー④追加後に削除された操作キーに分類し、端末機能、操作性、コンテンツサービス等の視点より変容要因の考察について発表があった。 発表後、審査委員、一般参加者より、①操作キー調査方法②キーピッチ、長押し表記の変化③多機能化への対応④ユーザーの受容要因⑤GUI の今後の可能性⑥UI 学習と UX の関連、等について質問があり、発表者より回答があった。また、参加者間の意見交換が行われた。 公聴会后、審査委員 5 名は別室に移動し、発表内容を踏まえて論文の審査を行った。審査員からは、論文について数か所の文意が不明確な点の指摘と、発表された内容について結言で述べられていない点の指摘があった。これらについては、最終提出論文で修正、追記することになった。 審査対象者は査読付き論文 2 本を学会誌に発表しており審査基準を満たしている。また、審査員からは、時系列での網羅的、詳細な調査と分析について高く評価された。よって、審査員全員一致で本審査を合格とした。	